

文部科学省

H26年度 学校のマネジメント力強化セミナー

大阪市教育情報化

校務支援ICT活用事業の取り組み

事業検討フェーズ

事業導入フェーズ

運用定着化フェーズ

強化発展フェーズ

変革フェーズ

H23年度

H24年度

H25年度

H26年度

H27

H28

H29

H30.5

▲ Here We Are!

大阪市教育委員会事務局

学校経営管理センター給与・システム担当

課長 山本圭作



大阪市の学校(園)概要

学校数

小学	298校
中学	130校
高校	20校
特支	10校
幼園	59園

517校園

教員数(本務)

小学	7,229人
中学	4,617人
高校	5,463人
特支	1,427人
幼園	1,913人

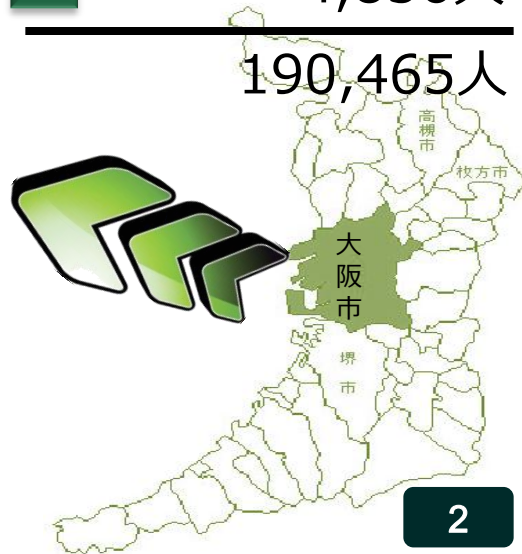
20,649 人

全24区、人口268万人
136万世帯

児童生徒数

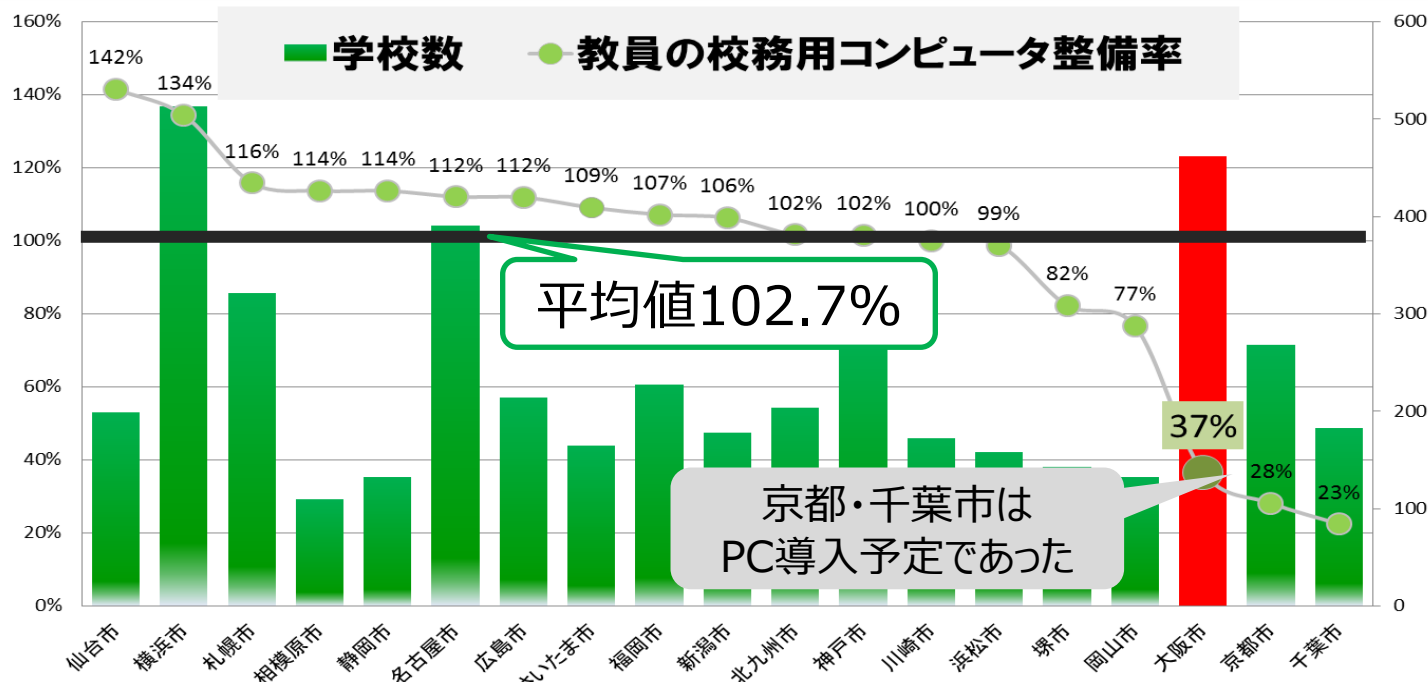
小学	113,684人
中学	55,901人
高校	13,841人
特支	2,183人
幼園	4,856人

190,465人

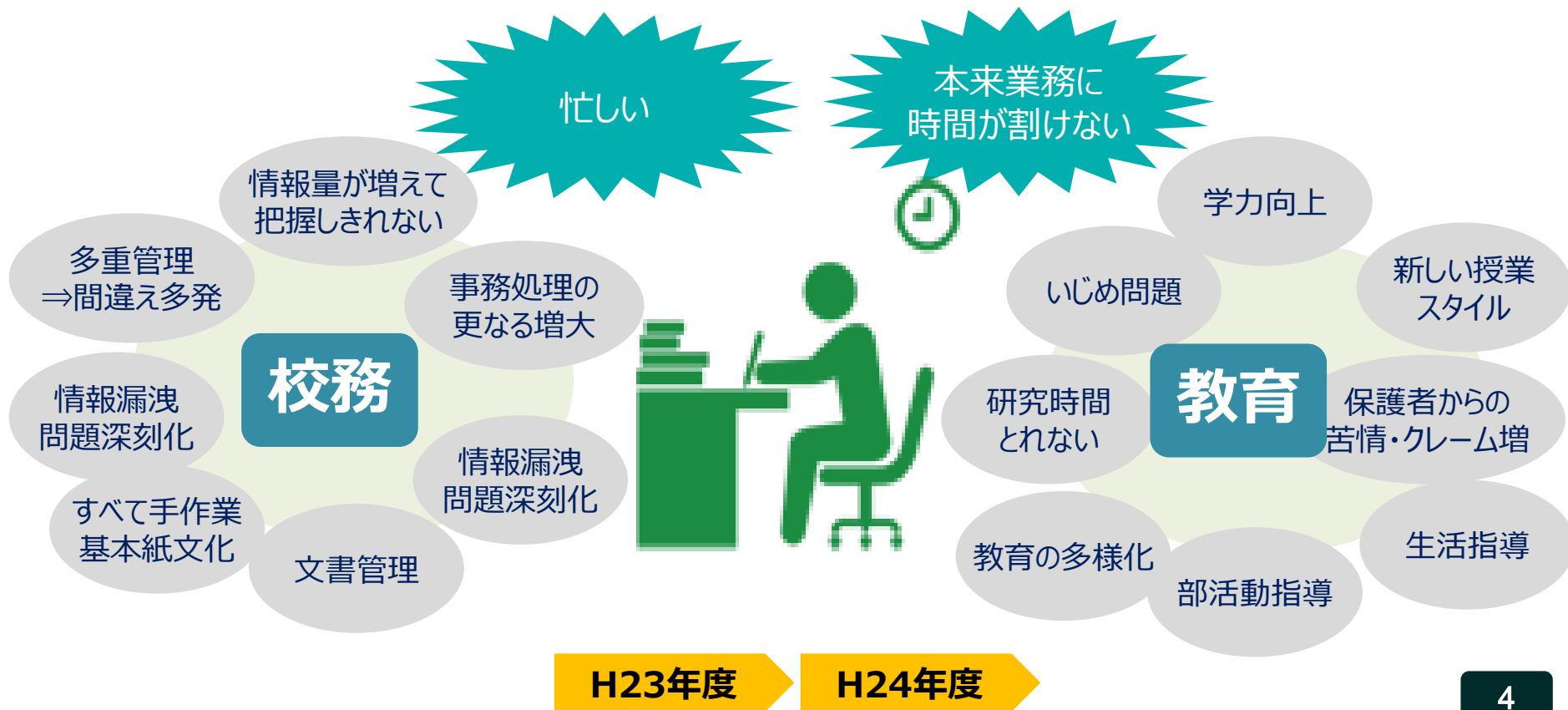


大阪市の教育課題～不足する教員端末～

全国平均では教員に一人一台PC整備は102.7%
大阪市は37% (H24年文科省調査結果)



教育と校務の課題





1部

事業検討フェーズ 校務実態調査とICT軽減策

1. 校務実態調査概要
2. 調査の結果と課題

H23年度

H24年度

H25年度

H26年度

H27年度

1-1. 校務実態調査概要

調査の目的

- 平成19年11月 文部科学省に、学校現場の負担軽減プロジェクトチームが設置
- 平成20年 3月 学校現場の負担軽減に向けた学校運営体制の改善のために
当面取り組むべき事項として、校務の情報化が打ち出された
- 平成22年 4月 本市教委は学校園業務軽減検討PTを設置
多忙化に関する学校現場が抱える課題を整理し、方策を検討

重点 課題

- ✓ 特に教頭に関する業務の整理やICTの活用による負担軽減
- ✓ 校務のシステム化による教員の負担軽減と子どもと向き合う時間の確保

調査の 目的

- ✓ PT内に設けた業務軽減検討部会ワーキングにより、校務の実態を調査し、学校における校務を取り巻く現状の問題点を明らかにすること
- ✓ ICTの導入検討に先立ち、どういったICTの活用が効果を期待できるか、また、ICTの導入に際して留意すべき事項は何かを明らかにすること

ICT事業化の背景と大阪市の取り組み

- 平成22年4月
学校園業務軽減検討PTを設置、課題整理と方策検討開始
- 平成23年度
業務軽減検討部会を設置、校務負担軽減実態調査として
『アンケート』『インタビュー』『視察』を実施

視察対象	視察するポイント
教頭の行動	8:00から12:00まで5分毎の教頭の行動を視る
保護者との連絡	職員室の電話の利用状況にして、誰がどういった内容で応答しているかを記録
PCの利用状況	職員室に配置されたPCはいつ、だれが、どの様に利用されているかを記録

1-2. 調査の結果と課題

教員、特に**教頭**への校務の集中が深刻化

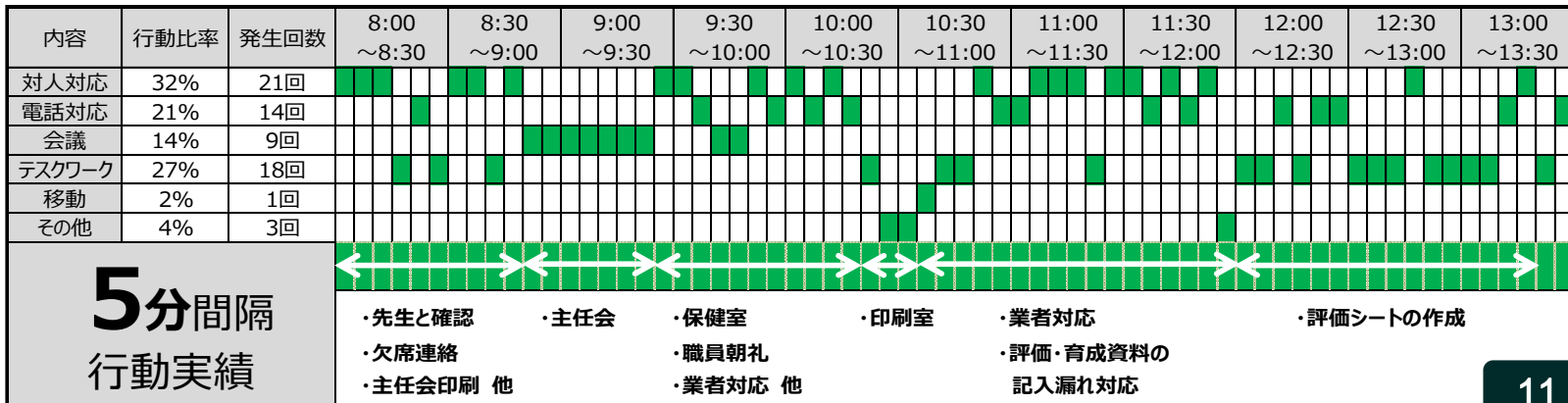
- － 教頭の平日平均残業時間は**4**時間以上、他教員の**1.5**倍
- － 校長補佐として**副校長**によるマネジメント強化の必要性の声

アンケート結果 ～負担感の高い校務・トップ5～

No.	校務事務	比率
1位	保護者からの要望、苦情対応等	55%
2位	学期末の成績・統計・評定処理	50%
3位	国や教育委員会からの調査やアンケートへの対応	48%
4位	会議のための事前準備(書類作成・招集)、後処理(議事録)	46%
5位	週案・指導案・教材等の作成・管理・共有	41%

現場視察した

（某教頭の半日の行動実績）



教頭への校務集中2/2

インタビュー
からの指摘

- 負担を感じる校務は、**保護者・地域のクレーム対応が半分以上**を占めている
- 教頭には、「**本来の業務**」と断言できないものが**全部回ってくる**
- **勤務時間を実態にあわせて**ほしい。子どもの登校が8:10からなのに、8:30勤務はおかしいと感じる
- 出張、年休などを**直接、教職員が入力**するようになれば助かる
- 学校日誌、年休簿、システムの**3点確認と照合が手間**である。勤怠関係がシステムで連携してくれれば助かる

現場視察からの
教頭の行動分析

- USB外部メモリーは学校の金庫で保管し、その鍵を教頭が管理している
- 教頭は、始業前から多くのコミュニケーションを取りながら業務を進めている
- 電話対応の他、学校への訪問者への対応や、**突発的な事象が多々発生**し、それらに寸断されながら業務を進めている実態が窺える
- 負担感が高い校務は、**不定期に発生する校務**が多い

大阪市の教育課題～課題の連鎖～

校務のICT化が遅れている事で、校務の運用面やセキュリティ面で課題が連鎖し、問題が複雑・深刻化している

PC不足

学校ICT化の遅れ

機種が古い

セキュリティ
不足

USBメモリの使いまわし

ウイルス
感染

私物PC
の持込み

PCを手持ちでプリンタ接続

頻繁な
印刷まち

多い
転記作業

5人に1人はUSBメモリで
持ち帰り仕事

弱い
情報共有